

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すこやかスタジオ神戸西		
○保護者評価実施期間	8年 2月 1日 ～ 8年 2月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 26人
○従業者評価実施期間	8年 2月 15日 ～ 8年 2月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	充実した職員配置	基本的に子ども対職員を2対1の割合で配置し、傍にいて安心してきめ細やかな対応ができる職員配置をしている。	様々な研修を通して職員一人一人が高い意識を持ち、子ども保護者共に安心感と信頼を持って通える事業所作りに努める。
2	職員間の密な連携による支援	計画書に沿った支援をベースにしながらも、日々変わる子ども一人ひとりの状況の確認をその都度行い、その状況に見合った支援方法を共有している。また、サービス終了後にはできる範囲でその日の支援内容の振り返りを行い、改善点等を話合っている。	全職員がその情報を共有できるように、連絡、報告を細やかに行うと共に、職員間の連絡ノートを有効に活用し、見返しや確認ができるよう工夫していく。
3	様々な視点で作成された個別支援計画書	定期的に様々な立場の職員とご家族の双方からモニタリングを行い、多角的な計画書を作成できる体制を作っている。	必要に応じて他事業所間とも連携を図り、さらに広い視野で計画書の作成を行っていく。また、全ての職員に計画書の周知を図り、同じ方向性をもって支援に取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各マニュアルの情報更新と周知	マニュアルの作成はしているが、情報が古く更新できていなかったり、職員への周知が徹底できていないことがある。	更新時期を決める等定期的な見直しができる体制を構築していく。また、マニュアルを使った研修も取り入れていく。
2	定期的な情報の発信	個人情報保護の観点や活動内容については日々の連絡帳で行えていることで必要以上の発信はしていない。	今後も個人情報の取り扱いには十分に注意しながら、要望に応じて検討していく。
3	活動プログラムの内容充実	活動プログラム自体は固定化しないよう職員で意見を出し合い、組み立てを工夫しているが、使用する道具等が古くなっているものやバリエーションが少ないことがある。	必要に応じて、修繕したり新しく購入することで、更なる活動プログラムの内容の充実を図る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すこやかキッズスタジオ神戸西

公表日 8年 3月 26日

利用児童数 26名

回収数26名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	1		1		・年齢が上がるにつれて体も大きくなり狭さを感じる時もあるなどの意見あったので部屋に必要最低限の療育に必要な物を置くように努め限られたスペースを上手く活用出来るように環境配慮、改善に努める。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23			3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			6		・事業所内は出来る限りシンプルな構造にし、見てわかりやすいよう配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22			4		・日々の清掃に加えて、経年劣化等で危ない箇所がないか日ごろから点検を行っている。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24			2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			2		・利用者の皆さんにわかりやすい説明とそれに沿った内容を提供している。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	2		3		・様々な立場の職員からアイデアを出してもらいながら、できる範囲で変化に富んだプログラムを提供していく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	4	6	14		・ご家族のご意向を聞きながら希望が多ければ検討していく。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	7	9		・ご希望があるご家族さんには個別でペアレントケアを行っているが、研修の開催は出来ていない。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25			1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	1				・気軽に相談していただけるよう今後も日頃から情報発信を行っていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7		11	8	・仕事をしているので、希望しない。	・保護者の意見が様々で現在は参観は実施できていない。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24			2		・電話や面談等で日程調整の上相談できる場がある旨を伝えている。また、申し入れがあれば即座に対応している。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	3	3	10		・個人情報の扱いが難しくSNS等では発信ができていないので慎重に出来る所は改善していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	2		3		・引き続き災害訓練や感染症予防の訓練を子供の安全を優先したうえで出来る範囲の訓練を実践していく。また、その周知も併せて図っていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	1		4		・子ども安全を確保した状態で、出来る限り実践に近い形の避難を心掛ける。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25			1	・おそらく無いのですが、難しい年ごろなのでわからないにしました。	・引き続き子どもや保護者の方に寄り添った支援を提供していき、安心の場となるよう創意工夫していく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	1		1	・おそらく無いのですが、難しい年ごろなのでわからないにしました。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25			1	・おそらく無いのですが、難しい年ごろなのでわからないにしました。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
すこやかキッズスタジオ神戸西		8年 3月 26日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・活動場所は限られているので、時間で分けたり、パーテーション等を使って工夫している。	・同じ定員でも子どもたちの年齢が上がるにつれて体も大きくなり狭さを感じる時もあるので、より安全への配慮を行っていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8		・安全の為、子どもの数に対して半数ほどの職員を随時配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3		・段差等バリアフリーが完全ではないので、マンパワーを使いながら来る限りの安全面の環境配慮、改善をはかる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・危ない箇所がないか常に気を配りながら、清潔の保持を図っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	・目の届きにくい環境を避けるためにも、パーテーション等に対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	3	・日々支援前と支援後に職員同士で報告を行い子どもの目標確認、状態の周知、改善に努めています。	・会議のようなスタイルで行っていないので、職員の認知ができていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・上司からの聞き取りを行う時間を作り、声を上げやすい機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		・要請があればそのような機会を利用しているが、積極的ではない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	3		・施設内では研修があるが外部の研修は全員が参加できていないので、できる範囲で外部研修に参加出来るよう時間を調整し配慮していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・児発管を中心にご家族のニーズや課題を職員間で話し合い、計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・児童発達支援計画を作成する際には、各職員の意見も聞き、集約して作成を行っている。子どもに応じた療育を考え実現可能な計画作成を行い、子どもの成長に繋がるようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・職員間で計画の情報共有を行い、支援計画を都度、確認するようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」と各項目を分け具体的に優先順位をつけ支援内容の設定、記載をおこなっている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・管理者が全て決めるのではなく、子どもたちの状況に応じて様々な立場の職員からプログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・子どもたちは楽しんで取り組めるよう、必要に応じて個別や集団に分けて活動をしている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		・個別課題のみではなく、小集団活動を取り入れるなど、子どもの状況に合わせて組み合わせた計画を立てています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・事前ミーティングなどでその日の注意点や予定を全員で周知出来る時間を設けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・送迎終わり必ず職員同士で当日の注意点の周知、保護者からの伝達等の共有を報告もかねて行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			・記録にあたり、現場職員からの聞き取り、その後の共有など、時間のない中でもコミュニケーションを図ることを端折らず心掛けていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・計画書を作成する前には必ずモニタリングを実施し、次の計画に盛り込んでいる。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	5		・地域での社会活動、地域への関わりがコロナ禍から減っているが出来る範囲での社会活動を増やしていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			・参画した者がその場で得た情報を他の職員にも共有していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・関係機関と連携していつでも連絡ができる体制を整え、支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・学校の先生と連携し、利用児童の体調の確認授業変更時の時間の確認などを行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		・必要を感じた際、また保護者からの要望がある場合や、学校側からの依頼があった場合に情報共有、相互理解を行っている。（保護者の承諾を得られた場合のみに限る）	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		8		・現時点でそのような事案がまだない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5		・要請があればそのような機会を利用しているが、積極的ではない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		・ご家族のご意向を聞きながら希望が多ければ検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		8		・積極的にはできていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・利用時の送迎の時に課題や出来てきた事に対して保護者に報告を行い共通理解を持つように心掛けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		・個別に希望があるご家族さんには懇談時にペアレントケアを行っているが、研修会は開催していない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約締結時に運営規程、重要事項説明書、負担額などについて説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・定期的にご家族に書いて頂くモニタリングなどを利用しご家族の意向などを確認し周知している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		・個別支援計画を保護者に説明と共に提示し同意サインを必ず頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・年に1回はお話する機会を設け懇談を実施しており保護者が悩まれた時など、電話相談も対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		8		・保護者の意見が様々で現在は参観は実施できていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・出来るだけ迅速に丁寧に対応するよう心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		8		・個人情報の扱いが難しくSNS等では発信ができていないので慎重に出来る所は改善していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・個人情報については、個人情報の取り扱い同意書に記載させていただいている内容に準じて、適切に取り扱いらせていただいております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・必要に応じて筆談や絵カードを用意している。今後に必要な物はその時々判断し、使用していく。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		・保護者の意見、了解も得ながら必要であれば検討し計画していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	4		・災害訓練など実施出来ている訓練もあるが防犯、感染など細かく分類して訓練ができていないので周知を図ると共に、子供の安全を優先したうえで出来る範囲の訓練を実践していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・BCP計画を作成、防災バックの準備をし、避難訓練については年2回、（火災・地震）定期的を実施している。	・室内の訓練だけではなく、今後は出来る限り実践に近い形の避難を心掛ける。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・アセスメント時に必ず聞き取りをし、てんかん発作等については、状況を確認し職員間で周知している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・医師からの指示を保護者にしっかりと確認し環境配慮や保護者におやつを用意して頂くなどの対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		8		・作成している安全計画を職員全体に周知し、支援を行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		8		・安全計画に対して実施した内容を周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・ヒヤリハットがあれば必ず記録を行い、いつでも職員が目を通せるようにして周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・虐待防止委員会を年に1回の社内研修と毎月セルフチェックを行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			・保護者への周知を徹底していく。